

改正省エネ法のフランチャイズチェーン規制強化で対策に取り組む

## 業務部門のエネルギー需要調査を実施

12年予測

LED照明103億円(09年度比286.1%)大型商業施設からCVSまで採用増、15年にはベース照明に

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は今年6~8月にかけて、4月の改正省エネ法施行により事業所単位でエネルギー管理を求められることとなった業務部門の取り組み実態の調査を行なった。その結果を報告書「エネルギー需要家別マーケット調査要覧 2009 業務分野編」にまとめた。

この調査は、8月公表の住宅部門、9月下旬公表予定の産業部門と共に、エネルギー需要部門別マーケットを分析して情報を提供する。主要な業務部門28施設のエネルギー消費の現状と将来動向を予測し、注目される省エネルギー機器を扱う企業27社を分析して、業務部門の今後の対応と潜在するエネルギー市場の実態を把握することに努めた。

8月に与党となった民主党のマニフェストでは、20年までには90年比25%の中長期温暖化ガスの排出量削減目標が掲げられ、京都議定書の温暖化ガス排出量6%削減の確実な達成とともに、各部門の強力な省エネルギー対策の取り組みが求められようとしている。

10年4月の改正省エネルギー法の本格施行で業務部門に多く見られる中小規模の事業所を数多く設置するフランチャイズチェーンは、本部事業者はチェーン全体を捉えたうえで、事業所単位にも報告が義務付けられる。それら事業者は多様な省エネ取り組みを強めている。その取り組みに対応して様々な設備機器・サービスの開発と提供も活発化している。

<調査結果の概要>

### 1. 全体市場

今回の調査対象は、オフィスビル、商業施設、飲食施設、宿泊施設、医療・福祉施設、文教施設そしてサービス・アミューズメント施設の7部門の28施設である。

09年度の総エネルギー需要量見込は、ストック件数が多いオフィスビルがトップである。続いて、旅館、病院、居酒屋、食品スーパーなどストック数が多い施設が上位に来る。一方、シティホテルや大学、オフィスビル、GMS、病院などでは施設規模が大きく、1施設あたりの年間需要量大きい。

ストック数成長率では、映画館・ホール、家電量販店が大きい。ドラッグストア、スーパー銭湯、衣料品チェーン店が続いている。

09年度の各施設エネルギー消費の見込では、空調エネルギーが特にシティホテルや大学、GMSそしてオフィスビルなどで消費割合が大きく、年間のエネルギー消費全体の約40%程度を占め、消費規模も大きい。食品スーパー、CVSなどでは、冷凍・冷蔵や照明エネルギーの消費割合がいずれも30%強と高い。厨房のエネルギー消費は、ファーストフード店、ラーメン店、ファミリーレストランで年間消費の25~30%程度と高率である。1施設あたりの消費規模ではシティホテルが最大である。給湯によるエネルギー消費はシティホテルや病院が規模、消費割合ともに大きい。

こうした各施設は、09年度に各種の省エネ機器を導入して省エネ・環境改善を推進する。以下主要な省エネ機器の普及見込を見る。パッケージエアコンや業務用ガスヒートポンプはオフィスビル(各40%強)や大学など文教施設(各14%)で普及が見込まれる。また、ターボ冷凍機はオフィスビル(40%強)、商業施設(25%)、宿泊施設(17%)程度の普及が見込まれる。

### 2. 注目される施設の動向

総合スーパー(GMS) 09年度見込総エネルギー需要量9,693万GJ

ストック施設数 09年度見込1,610件 12年度予測1,540件(09年度比95.7%)

イオン、イトーヨーカ堂、ダイエー、ユニーなど大手チェーンが対象である。施設規模が大きいことから従来の省エネ法の対象となっており、今回の改正省エネ法の影響を大きく受けない。しかし、都市計画法では延べ床面積1万㎡超の大型店は商業地域などに限定、工場跡地や農地への出店は厳しく制限される。今後郊外出店は更に減少し、全体でも新規出店数の減少が続くと見込まれる。大手企業による既存店舗の見直しにより、閉鎖や食品スーパーへの業態変更が進むと見込まれる。

この施設は給湯負荷が少ないため、一部店舗ではオール電化が見られる。エコストア構想が進められているため、今後はオール電化、太陽光発電の採用比率が高まると予想される。照明の負荷が全体の30%を占めている。面積が広く天井が高いので照明数が多い、屋外看板、ディスプレイ用照明の負荷比率も高い。さらに空調の負荷が40%を占める。営業時間の延長や、GMSを核店舗としたショッピングモール計画の推進による施設規模の拡大により、1施設あたりのエネルギー使用量は増大すると見込まれる。

食品スーパー 09年度見込総エネルギー需要量2億2,080万GJ

ストック施設数 09年度見込20,300件 12年度予測20,600件(09年度比101.5%)

08年の急激な景気後退により、営業不振が長引くGMSの業態変更で対象店舗は増加する見込である。中食市場の拡大などにより、店内で調理するケースが増えてガス需要が確保されるため多くの店舗で電気とガスエネルギーが併用される。一部では、電力料金の低価格化や夜間電力を活用するプランなどによりオール電化採用店舗も増えている。施設のエネルギー消費は冷凍・冷蔵設備が最も高い割合を占める。店内の冷凍・冷蔵設備が店内温度を下げるため、空調負荷はそれ程なく、店内は常時冷房状態にある。

コンビニエンスストア(CVS) 09年度見込総エネルギー需要量2,382万GJ

ストック施設数 09年度見込46,600件 12年度予測48,000件(09年度比103.0%)

セブン-イレブン・ジャパン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクスがこの業態の大手である。これまで右肩上がり店舗数を増やして来た。しかしスクラップ&ビルドが激しい業界で、近年は新設店舗数は多いものの、ストック数は横ばいないし微増が続いている。今後、都心部ではテナント型店舗の増加が、また駅構内、大学キャンパス、病院など更なる新規エリアへの出店が予測される。

エネルギーソースは電力需要が多く熱需要は少ない。従って実質的にオール電化にしている店舗も多い。エネルギーの用途は照明が30%強となり、冷凍・冷蔵用エネルギー消費も同じく30%を占める。近年は更に街灯・駐車場用照明、あるいはATMやマルチメディア端末などOA機器のエネルギー消費も高まっており、今後も増加が続くと予測される。

ファミリーレストラン 09年度見込総エネルギー需要量2,325万GJ

ストック施設数 09年度見込12,400件 12年度予測12,270件(09年度比99.0%)

すかいらーく、サイゼリアなどの大手企業のほか焼肉やちゃんぽんなど専門メニューチェーンも対象とする。チェーン化率が高く、1チェーンあたりの店舗数も多い。また厨房設備が必要なことから1店舗あたりのエネルギー消費量が多いため、改正省エネ法への対応が必要となる企業が多い。これまでトップシェアのすかいらーくグループが多業態を展開して市場を牽引して来た。堅調に市場拡大を続けてきたが競合となる中食産業や回転寿司業態の市場拡大など環境は厳しさを増している。今後は出店抑制、閉店、業態変更などから穏やかな減少が予測される。

近年、厨房の空調コストを下げるため厨房機器の電化が進んでいる。従業員の作業環境改善、またアルバイト店員が多い店舗では、調理法をマニュアル化しやすく料理の均質性を保ち易いということから電化厨房を導入するケースも多い。エネルギー消費は、厨房の負荷が最も高い。次いで空調である。食品衛生管理上、温湿度管理を強化していることに起因している。

### 3. 注目される省エネ機器の動向

#### パッケージエアコン

09年度見込 2,590億円 12年度予測 2,960億円(09年度比114.3%)

07-09年度にかけて、設備投資の抑制で縮小が続いているが10年度以降は改正省エネ法の規制から、リニューアル需要が顕在化して回復に向かうと予測する。この機器は業務用施設への導入が80%以上を占めオフィスに次いで、教室ごとに設置する学校、テナント数の多い商業施設、個室の多い病院やホテルなど、個別制御が求められる施設で積極的に採用される。今後はセントラル空調の大規模オフィスビルのリニューアル需要もある。また09年4月施行の改正省エネ法により新たに規制されるチェーン展開の中小規模業務施設が有望と見込まれる。

#### ターボ冷凍機

09年度見込 60億円 12年度予測 97億円(09年度比161.7%)

大容量の冷却負荷を賄う機器として遠心式圧縮機を使用した冷凍機である。08年後半以降の世界不況の影響に

よる設備投資抑制から市場が大幅に縮小する見通しであるが、近年は大規模専業施設や複合商業施設などの大容量機種採用が堅調である。また、リニューアル需要も拡大しており、更新需要も底堅く存在している。10年度以降の市場は景気の回復と共に需要回復が見込まれ、右肩上がりを持続すると予測される。

#### LED照明

09年度見込 36億円 12年度予測 103億円(09年度比286.1%)

店舗やオフィスなどの屋内施設照明に使用されるLED光源のみを対象とする。07年度から大手の照明器具メーカーがダウンライトなどの商品ラインナップを整備して拡大傾向となり、08年度には大型商業施設やCVSなどで採用が増えて順調に成長した。今後も直進性の高い光を放つためダウンライトやスポットライトでの採用が有望視され、白熱球の生産中止による代替から拡大が予測される。15年を目途にベース照明として活用が期待される。

#### 業務用エコキュート

09年度見込 33億円 12年度予測 56億円(09年度比169.7%)

環境意識の高まりやランニングコストの安さ、家庭用エコキュート普及による認知向上から業務用も普及している。08年度は燃料高騰などを背景に大幅に市場が拡大した。しかし後半から進んだ燃料価格の落ち込みや世界同時不況による建築需要の減退から09年度の成長率は鈍化すると見込まれる。10年度以降は商品機能の充実が予想され、市場は拡大基調に戻ると予測される。11年度以降の中長期展望は効率の向上や商品知名度の向上、リニューアル案件の増加などにより穏やかな拡大が予測される。

以上

#### <調査対象>

施設(28施設) [オフィスビル] オフィスビル [商業施設] GMS 食品スーパー ホームセンター ドラッグストア 家電量販店 衣料品チェーン店 自動車ディーラー ガソリンスタンド コンビニエンスストア [飲食施設] ファーストフード店 ラーメン店 ファミリーレストラン 居酒屋 [宿泊関連施設] シティホテル ビジネスホテル 旅館 [医療・福祉施設] 病院 診療所 介護保険施設 [文教施設] 小学校・中学校・高校 大学 文化施設 [サービス・アミューズメント施設] パチンコホール フィットネスクラブ 映画館・ホール スーパー銭湯 理・美容院  
機器(10品目) [空調機器] パッケージエアコン 業務用ガスヒートポンプ 氷蓄熱式パッケージエアコン 吸収式冷凍機 ターボ冷凍機 チリングユニット [給湯・ボイラ] 業務用エコキュート 簡易・小型貫流ボイラ [照明機器] Hf照明 LED照明

参入企業事例(27社) [EMS] NEC ネットズエスアイ 大崎電気工業 オムロン ジョンソンコントロールズ 東京ガス 三菱電機 山武 [インバータ] 三菱電機 [空調機器] 川重冷熱工業 三洋電機 ダイキン工業 東芝キャリア 日立アプライアンス 三菱重工業 三菱電機 [ショーケース] 三洋電機産機システム 福島工業 [給湯・ボイラ] 昭和鉄工 ダイキン工業 日本サーモエナー ネボン 日立アプライアンス 三菱電機 [LED照明] ウシオライティング NECライティング コイズミ照明 三菱電機照明

<調査方法> 富士経済専門調査員による調査対象各企業へのヒアリング調査と一部、文献調査を併用

<調査期間> 2009年6月~8月

資料タイトル	: 「エネルギー需要家別マーケット調査要覧 2009 業務分野編」
体裁	: A4判 298頁
価格	: 97,000円 (税込み101,850円)
CD-ROM付セット価格	: 107,000円(税込み112,350円)
調査・編集	: 富士経済 東京マーケティング本部 第三事業部 TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514
発行所	: 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル TEL03-3664-5811 (代) FAX 03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a>